

作成:2009年8月17日 改訂:2012年10月1日

整理番号 00468A

## 製品安全データシート

#### 1. 製品及び会社情報

製品名 PerfectHyb Hybridization Solution

製品コード HYB-101

会社名 東洋紡株式会社

大阪市北区堂島浜二丁目2番8号 住所

担当部門 ライフサイエンス事業部

電話番号 06-6348-3786 FAX番号 06-6348-3833

ハイブリダイゼーション促進溶液(研究用試薬) 推奨用途および使用上の制限

#### 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性

有害性

有害性に関する調査が十分でなく取り扱いに注意する。

GHS分類

物理化学的危険性 分類できない 人健康有害性

急性毒性(経口) 区分外 分類できない 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない 急性毒性(吸入:ミスト) (区分外)

皮膚腐食性 刺激性 区分3 眼損傷・眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 分類できない 発がん性 生殖毒性 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 分類できない 吸引性呼吸器有害性 分類できない

水生環境急性有害性 区分3 環境有害性

> 水生環境慢性有害性 分類できない

ラベル要素

注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 軽度の皮膚刺激 水生生物に有害

注意書き: 使用前に取扱説明書を入手する。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。

適切な保護手袋を着用する。

適切な保護眼鏡、保護面を着用する。

取り扱った後、手を洗う。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当

てを求める。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着 用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の

刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。 飲み込んだ場合、医師の診断、手当てを求める。

環境への放出を避ける。



作成:2009年8月17日 改訂:2012年10月1日 整理番号 00468A

## 製品安全データシート

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

界面活性剤、水溶性高分子、pH調整剤等を含む水溶液

化学特性 化学名 ラウリル硫酸ナトリウム ドデシル硫酸ナリウム 別名

SDS

混合物

含有量 7.5%

化学特性(化学式) CH<sub>3</sub>(CH<sub>2</sub>)<sub>11</sub>OSO<sub>3</sub>Na

CAS番号 151-21-3 官報公示整理番号 化審法 2 - 1679

> 公表 安衛法

危険有害成分

化学物質管理促進法

指定化学物質(政令番号)

労働安全衛生法

通知対象物(政令番号)

毒物劇物取締法

毒物・劇物 (政令番号)

1-275 💥

該当しない

該当しない

※上記の化学物質によるPRTR届出のための排出・移動量 の把握は平成22年4月からの開始です。平成21年度分の 届出は政令改正前の第一種指定化学物質に基づき行う必要が あります。

4. 応急措置

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合 吸入した場合

は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 多量の水で十分洗い流す。

目に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタ クトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師

の診断、手当てを受ける。

可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。 飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤 消火剤

消火は風上から行う。

大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

消火を行う者の保護

目、皮膚への接触、吸入を避ける。 人体に対する注意事項

環境に対する注意事項 可能な限り回収する。回収後多量の水を用いて洗い流す。

除去方法 可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密

閉式の空容器に回収し、その後、大量の水で洗い流す。



作成:2009年8月17日 改訂:2012年10月1日 整理番号 00468A

# 製品安全データシート

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 人体への接触を避けるよう十分に配慮する。

注意事項

目、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は充分洗浄する。

安全取扱い注意事項 取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

保管

適切な保管条件密閉容器にて室温で保管する。

安全な容器包装材料 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 ラウリル硫酸ナトリウム

日本産業衛生学会勧告値 設定されていない ACGIH TLV 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 必要に応じてマスクを着用する。

手の保護具 ゴム手袋を着用する。 目の保護具 保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具
必要に応じて実験用の被服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状液体

色、臭い 無色透明、ほとんど無臭

pH 7.0~8.0 引火点 なし

爆発特性 常温では爆発性はない。

 密度
 データなし

 溶解性
 水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性 室温で安定

反応性 通常の条件下では安定である。

避けるべき条件高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、

還元剤

危険有害な分解生成物 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性 データなし

局所効果 目や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性

がある。

各成分の有害性情報

急性毒性(LD50)

ラウリル硫酸ナトリウム ラット経口:1288mg/kg

発癌性

日本産業衛生学会 IARC ACGIH 記載なし 記載なし



作成:2009年8月17日 改訂:2012年10月1日

整理番号 00468A

## 製品安全データシート

12. 環境影響情報

移動性 水溶性あり、水系に拡散する。

残留性 · 分解性 データなし

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託 残余廃棄物

> することが好ましい。本製品の低濃度廃水は活性汚泥処理を 行うことができる。焼却する場合には、焼却設備により大気 汚染防止法令等に従い、おがくずなどに吸収させて焼却炉で

少しずつ焼却する。

汚染容器・包装 その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連勧告の定義上の危険物には該当しない。

国内規則 輸送に関する法規制には該当しない。

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損 輸送の特定の安全対策及び

傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

条件

輸送に関する法規制は、14.輸送上の注意の項参照。

ラウリル硫酸ナトリウム

非該当 消防法 非該当

化学物質排出把握管理 法第2条第2項、施行令第1条別表第一種指

促進法 定化学物質

海洋汚染防止法 非該当

16. その他の情報

「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社(2000 参考文献

年)

「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社(2000

ACGIH (7th, 2001)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合 検索

システム

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づい て作成しており、新しい知見により改訂されることがありま す。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですの で、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策 を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的と

するものであって、保証するものではありません。